

別表2 専門部会と研究内容

区分	主な研究内容
防 護	医療における放射線安全管理を考え、放射線被ばくに係わる調査、コメント・声明の発信、ガイドラインの作成、被ばくに関する研究を行う。
計 測	研究の基礎をなす「計測」について研究し、X線診断・放射線治療・核医学・放射線管理・MRI・超音波などにも共通した多くの基礎的問題を抱えている。この問題を解決するとともに放射線技術学領域を中心とした計測学の研究促進をはかる。
画 像	医用画像形成全般、画質評価、画像処理および解析、コンピュータ支援診断（CAD）の開発および臨床評価等の技術や手法の向上と臨床応用。すべてのモダリティの医用画像が研究対象。
撮 影	一般撮影から血管撮影、消化管撮影、CT検査、MR検査、超音波検査、骨密度検査と多岐にわたり、エビデンスに基づいた技術を医療に提供できるように、環境を整備し情報を共有するとともに、最先端の研究を推進する。扱う領域は臨床に直結した放射線技術学であり、新しいエビデンスを構築するための研究を行う。
核医学	放射線技術学だけでなく医学、薬学、理工学などとの学際的な見地から、放射性医薬品ならびに核医学装置（SPECT、PETなど）の開発や評価を行う。また、核医学装置の撮像法、画像再構成法、補正法、定量解析法など核医学検査技術についてのエビデンスを構築する。さらに、核医学検査（RI内用療法を含む）に関する安全管理や医療安全など実務に直結する研究も行う。
放射線治療	放射線治療の臨床、放射線治療技術学、放射線計測学、品質保証・品質管理、放射線安全管理、放射線治療の医療安全などについて研究する分野である。がん治療に貢献する放射線治療全般に関する研究を含める。
医療情報	情報という観点から放射線技術学領域におけるすべての業務分析と安全・管理・評価、医療経営・経済の視点からの分析・統計の研究。医用画像領域における情報システムの開発と管理・評価法の研究。情報の安全な取扱いや法律、医療における標準化の取り組み、診療の現場から地域連携まで広い範囲を研究領域とする。